

# 四半期報告書

(第62期第1四半期)

自 平成26年4月1日

至 平成26年6月30日

## NKKスイッチズ株式会社

神奈川県川崎市高津区宇奈根715番地1

## 表 紙

## 第一部 企業情報

## 第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	1

## 第2 事業の状況

1 事業等のリスク	2
2 経営上の重要な契約等	2
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	2

## 第3 提出会社の状況

## 1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	4
(2) 新株予約権等の状況	4
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	4
(4) ライツプランの内容	4
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	4
(6) 大株主の状況	4
(7) 議決権の状況	5

2 役員の状況	5
---------	---

## 第4 経理の状況 6

## 1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10

2 その他	14
-------	----

## 第二部 提出会社の保証会社等の情報 15

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年8月12日
【四半期会計期間】	第62期第1四半期（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）
【会社名】	NKKスイッチズ株式会社
【英訳名】	NKK SWITCHES CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 大橋 智成
【本店の所在の場所】	神奈川県川崎市高津区宇奈根715番地1
【電話番号】	044—813—8026
【事務連絡者氏名】	常務取締役 市川 忠夫
【最寄りの連絡場所】	神奈川県川崎市高津区宇奈根715番地1
【電話番号】	044—813—8026
【事務連絡者氏名】	常務取締役 市川 忠夫
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第61期 第1四半期連結 累計期間	第62期 第1四半期連結 累計期間	第61期
会計期間	自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日	自平成26年 4月1日 至平成26年 6月30日	自平成25年 4月1日 至平成26年 3月31日
売上高 (千円)	1,574,512	1,976,841	7,459,475
経常利益 (千円)	111,735	236,069	708,256
四半期(当期)純利益 (千円)	76,683	144,836	433,446
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	133,078	129,796	627,709
純資産額 (千円)	10,430,205	10,971,719	10,883,202
総資産額 (千円)	12,797,696	13,520,335	13,354,388
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	9.31	17.59	52.64
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	81.5	81.1	81.5

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### （1）業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、円安の進行や株高を背景として政策主導から徐々に自律回復への兆しを感じられる中、全体としては緩やかな景気の回復が見られました。

当社の属する産業用スイッチ（操作用スイッチ）市場におきましても、前年比105.5%と回復傾向を見せております。

こうした中、平成26年4月よりスタートした新中期経営計画「Accomplish100」において、今後さらにグローバル化・ボーダーレス化が加速される中、「世界で最も知られ、世界で最も好まれ、世界で一番に選ばれるスイッチサプライヤー」となるべく、北米市場からさらに世界に視野を広げ当社グループの販売体制の中核であるローカルディストリビューター、グローバルディストリビューター、カタログディストリビューターの販売網を拡大し、また、ものづくりメーカーとして、研究力・開発力・品質力の向上に努め、お客様に最も信頼されるグローバルカンパニーになるように努力してまいりました。

以上のことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は19億7千6百万円（前年同期比25.6%増）、営業利益は2億7百万円（前年同期比175.1%増）、経常利益は2億3千6百万円（前年同期比111.3%増）、四半期純利益は1億4千4百万円（前年同期比88.9%増）となりました。

当社グループは世界を一つの市場と捉え、グループ各社の垣根を越えた総合力で、産業用スイッチ分野で世界のトップを目指してまいります。

なお、セグメントの概況は次のとおりであります。

#### ① 日本

日本国内は、景気が緩やかな回復基調で推移し、設備投資を計画している企業が増えている中、既存取引先の受注増加や新規取引先の受注獲得により、当第1四半期連結累計期間の売上高は14億5千1百万円（前年同期比22.7%増）となりました。

#### ② 米国

中期経営計画「Accomplish100」において、キーである北米市場に対し積極的な販売活動に取り組んだ結果、現地通貨ベースでは前年同期比25.1%増となり、当第1四半期連結累計期間の売上高は6億3千万円（前年同期比29.4%増）となりました。

#### ③ アジア

当社はアジアの中でも中国を日本、北米に続く第三の市場と位置づけております。中国市場においてもNKKブランドの認知度は徐々に浸透しつつあり、現地通貨ベースでは前年同期比57.9%増となり、当第1四半期連結累計期間の売上高は、7億1千5百万円（前年同期比63.0%増）となりました。

## (2) 財政状態の分析

### ① 資産

資産合計は135億2千万円（前連結会計年度末比1億6千5百万円の増加）となりました。

主な要因は、現金及び預金の増加（前連結会計年度末比1億2千2百万円の増加）商品及び製品の増加（前連結会計年度末比1億7千1百万円の増加）、原材料及び貯蔵品の減少（前連結会計年度末比1億1千1百万円の減少）によるものであります。

### ② 負債

負債合計は25億4千8百万円（前連結会計年度末比7千7百万円の増加）となりました。

主な要因は、支払手形及び買掛金の増加（前連結会計年度末比6千4百万円の増加）、未払法人税等の増加（前連結会計年度末比4千9百万円の増加）、引当金の減少（前連結会計年度末比7千5百万円の減少）によるものであります。

### ③ 純資産

純資産合計は109億7千1百万円（前連結会計年度末比8千8百万円の増加）となりました。

主な要因は、四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加（前連結会計年度末比1億3百万円の増加）、その他有価証券評価差額金の増加（前連結会計年度末比9百万円の増加）、為替換算調整勘定の減少（前連結会計年度末比2千4百万円の減少）によるものであります。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた問題はありません。

## (4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、9千3百万円であります。当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### ①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	26,000,000
計	26,000,000

###### ②【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年8月12日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	8,425,200	8,425,200	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	8,425,200	8,425,200	—	—

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成26年4月1日～ 平成26年6月30日	—	8,425,200	—	951,799	—	833,305

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

### ① 【発行済株式】

平成26年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 191,000	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,203,000	8,203	—
単元未満株式	普通株式 31,200	—	—
発行済株式総数	8,425,200	—	—
総株主の議決権	—	8,203	—

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式716株が含まれております。

### ② 【自己株式等】

平成26年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) NKKスイッチズ(株)	神奈川県川崎市高津区 宇奈根715番地1	191,000	—	191,000	2.27
計	—	191,000	—	191,000	2.27

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,960,142	6,082,506
受取手形及び売掛金	※1 1,473,704	※1 1,460,949
商品及び製品	870,022	1,041,110
仕掛品	125,710	154,042
原材料及び貯蔵品	1,375,409	1,263,473
繰延税金資産	111,467	134,646
その他	90,043	68,874
貸倒引当金	△2,783	△2,715
流動資産合計	10,003,716	10,202,886
固定資産		
有形固定資産	1,443,537	1,431,760
無形固定資産	603,610	567,430
投資その他の資産	1,303,524	1,318,257
固定資産合計	3,350,672	3,317,448
資産合計	13,354,388	13,520,335
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,226,269	1,290,957
未払法人税等	67,905	117,695
引当金	120,588	44,634
その他	547,582	562,018
流動負債合計	1,962,345	2,015,305
固定負債		
繰延税金負債	118,900	113,325
役員退職慰労引当金	175,900	178,150
退職給付に係る負債	97,122	125,186
その他	116,918	116,648
固定負債合計	508,841	533,310
負債合計	2,471,186	2,548,616

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	9,134,361	9,238,030
自己株式	△159,491	△159,603
株主資本合計	10,759,974	10,863,531
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	236,602	246,462
為替換算調整勘定	△113,375	△138,275
その他の包括利益累計額合計	123,227	108,187
純資産合計	10,883,202	10,971,719
負債純資産合計	13,354,388	13,520,335

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	1,574,512	1,976,841
売上原価	886,938	1,126,875
売上総利益	687,573	849,966
販売費及び一般管理費	612,307	642,881
営業利益	75,266	207,084
営業外収益		
受取配当金	12,512	12,939
為替差益	25,592	17,549
受取賃貸料	1,955	2,540
その他	2,750	2,733
営業外収益合計	42,811	35,763
営業外費用		
支払利息	323	344
売上割引	4,661	5,073
賃貸収入原価	1,208	1,197
その他	148	162
営業外費用合計	6,342	6,778
経常利益	111,735	236,069
特別損失		
固定資産除却損	6,843	—
特別損失合計	6,843	—
税金等調整前四半期純利益	104,892	236,069
法人税、住民税及び事業税	43,810	123,231
法人税等調整額	△15,601	△31,998
法人税等合計	28,209	91,233
少数株主損益調整前四半期純利益	76,683	144,836
少数株主利益	—	—
四半期純利益	76,683	144,836

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	76,683	144,836
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,624	9,859
為替換算調整勘定	59,020	△24,899
その他の包括利益合計	56,395	△15,040
四半期包括利益	133,078	129,796
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	133,078	129,796
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
受取手形割引高	1,423千円	1,532千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
減価償却費	81,138千円	94,042千円

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	57,649	7.0	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

II 当第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	41,167	5.0	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	アジア	
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	930,833	486,197	157,481	1,574,512
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	252,387	556	281,545	534,490
計	1,183,220	486,754	439,026	2,109,002
セグメント利益又は損失(△)	△47,869	80,393	△4,622	27,901

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	27,901
セグメント間取引消去	47,364
四半期連結損益計算書の営業利益	75,266

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	日本	米国	アジア	
売上高				
（1）外部顧客への売上高	1,132,013	629,287	215,541	1,976,841
（2）セグメント間の内部売上高又は振替高	319,698	757	499,912	820,368
計	1,451,711	630,044	715,454	2,797,210
セグメント利益	11,886	124,708	127,144	263,739

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	263,739
セグメント間取引消去	△56,654
四半期連結損益計算書の営業利益	207,084

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。



(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
1 株当たり四半期純利益金額	9円31銭	17円59銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	76,683	144,836
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	76,683	144,836
普通株式の期中平均株式数 (株)	8,235,067	8,233,334

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

NKKスイッチズ株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 沖 恒 弘 ㊞

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 古 山 和 則 ㊞

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているNKKスイッチズ株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、NKKスイッチズ株式会社及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。